

# 2022.2/12-13 第 11 回定期総会 お寄せいただいたメッセージ



\* 受け順 敬称略

1	石垣のりこ	参議院議員
2	大河原雅子	衆議院議員
3	菅直人	衆議院議員
4	牧義夫	衆議院議員
5	近藤昭一	衆議院議員
6	阿部知子	衆議院議員
7	末松義規	衆議院議員
8	菊田真紀子	衆議院議員
9	桜井周	衆議院議員
10	吉田はるみ	衆議院議員
11	宮本徹	衆議院議員
12	岡崎宏美	新社会党中央 執行委員長
13	高良鉄美	参議院議員
14	尾辻かな子	前衆議院議員
15	保坂のぶと	世田谷区長
16	黒岩たかひろ	前衆議院議員
17	梅谷守	衆議院議員
18	神谷ひろし	衆議院議員
19	篠原豪	衆議院議員
20	福島みずほ	参議院議員
21	打越さく良	参議院議員
22	吉田つねひこ	衆議院議員
23	山本太郎	衆議院議員
24	森ゆうこ	参議院議員
25	辻元清美	前衆議院議員
26	下條みつ	衆議院議員

## ★立憲民主党 衆議院議員 大河原雅子

緑の党グリーンズジャパンの皆様

第 11 回定期総会の開催、併せて結党 10 周年おめでとうございます。コロナ後の社会は経済を含めて緑の理念に基づく大転換が必要です。これからも皆様と志を同じくして共に生きる社会を創るために活動して参ります。

## ★立憲民主党 衆議院議員 阿部知子

気候変動が進行が世界中を自然災害や感染症災害にまきこむ中、格差や貧困の拡大が広がり、人々の生存、人権、そして未来すらも脅かされています。今こそ環境問題に根ざした緑の党の活動が世界においても我が国においても強く求められます。ますますのご活躍を期待しています。

## ★立憲民主党 衆議院議員 末松義規

定期総会まことにおめでとうございます！

先日の総選挙では、ご推薦賜り本当にありがとうございました。

緑の党グリーンズジャパンが日本で果たしている役割は素晴らしいものがあります。私も心から応援させていただきます！

## ★立憲民主党 衆議院議員 菊田真紀子

緑の党グリーンズジャパン第 11 回定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

昨年の総選挙において、いち早くご推薦を頂き、中山均共同代表はじめ皆様方の心強いご支援のお陰で、新潟 4 区から 7 期目の当選を果たすことができました。

心から深く感謝申し上げます。

選挙で訴えた、我が国のエネルギー政策を再生可能な自然エネルギーや持続可能なエネルギーへと転嫁し、原発に依存しない原発ゼロ社会を実現していくため、御党をはじめとする多くの皆様方と連携し、進めていく決意です。

また、私生活では夫の急逝という深い悲しみを経験しました。だからこそ、人の痛みや苦しみに親身に受け止め、困った人に寄り添い、全ての人の大切な命を守る政治を実現するため全力を尽くして参ります。

結びに、御党の益々のご発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

## ✿ 立憲民主党 衆議院議員 吉田はるみ

第11回の定期総会の開催、誠にありがとうございます。

人間は、自然をコントロールすることはできない。自然に対し謙虚に、自然とともに生きる未来を考える時です。今こそ、未来を生きる全ての人のために、緑の党の皆様とともに、地球環境を守り、持続可能な社会を実現するために全力を尽くす覚悟です。

## ✿ 日本共産党 衆議院議員 宮本徹

緑の党第11回定期大会の開催と結党10周年おめでとうございます。

昨年の衆議院選挙では、ご推薦をいただき、熱い応援ありがとうございました。

再選後の初質問では、気候危機対策について政府をただしました。岸田政権はCOP26で求められた2030年までのCO<sub>2</sub>排出削減目標の引き上げに背を向け、石炭火力に固執する姿勢を示しています。文字通り化石のような政権に未来を託すわけにはいきません。持続可能な未来のために、力を合わせてゆきましよう。

## ✿ 沖縄の風 参議院議員 高橋鉄美

「緑の党グリーンズジャパン」結党10周年まことにおめでとうございます。また、日頃の御党の取り組みに心から敬意を表しますとともに、心強い連帯に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中、国民生活は厳しい状態が続いています。とりわけ、生活困窮者への早急な支援が必要ですが、政府の取り組みは生活困窮者に行き届いていないのが現状です。

さて、今年は、沖縄が本土に復帰して50年の節目の年です。しかし、政府による沖縄の民意無視、差別、圧力は変わらず、沖縄県民はいまだに本土並みの復帰を手に行うことができていません。また、基地に由来する環境汚染や動植物多様性の破壊、貧困問題など人々の暮らしを脅かす問題が山積しています。

御党の基本政策である持続可能なエネルギー社会へのシフトは、グローバルスタンダードとなり、取り組むべき喫緊の重要課題となっています。国連がSDGs（持続可能な開発目標）を掲げ、わが国でも達成に向けた取り組みが始まりましたが、持続可能なエネルギー社会はもとより、貧困問題解決も、ジェンダー平等も目標達成からほど遠い状況です。

このような状況下で、御党のリーダーシップに大いに期待するところであり、沖縄の風としても、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会実現のために、力を尽くす所存です。

御党のますますの躍進と、党員のみなさまのご健勝を心から祈念し、連帯のご挨拶といたします。

## ✿ 立憲民主党 衆議院議員 梅谷守

第11回定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが、昨年、衆議院議員に初当選させていただくことが出来ました。皆さまのご支援に、この場をお借りし改めて心より御礼申し上げます。

私たちはいま、時代の転換期にあります。自公政権の「食い潰しモデル」から脱して、未来の世代が平和で、安心・安全に食べて行ける新たな産業と社会を創ることが問われています。

いまこそ、政権と対峙できる野党勢力を確立しなければなりません。貴党と連携し、力を尽くしてまいることをお誓い申し上げます。

結びに、貴党のますますのご活躍と、皆さまのご健勝をお祈りいたします。

## ✿ 立憲民主党 衆議院議員 吉田つねひこ

緑の党グリーンズジャパン 第11回定期総会の開催をお祝い申し上げます。

第49回衆議院議員総選挙におきましては、御党より御支持を賜り、三たびの当選を果たすことができました。

私、吉田つねひこは、御党と歩みを共にし、原発に依存しない社会を1日も早く実現する為、最新の知見を踏まえた様々なクリーンエネルギーに対する抜本的かつ大幅な予算拡充等、気候危機への取組を力強く推進して参ります。

末筆ながら、御党の更なる御隆盛を表心より祈念致します。

## ✿ 立憲民主党 衆議院議員 下條みつ

緑の党グリーンズジャパン第11回定期総会の開催心よりお喜び申し上げます。

この度の総会が、活動促進に向け実りお置物をなりますようお祈りいたします。

関係各位のご尽力に敬意を表しますとともに、貴党の更なる発展と、ご参集の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

緑の党グリーンズジャパン

共同代表 中山 均 様

松本なみほ様

橋本 久雄様

尾形 慶子様

2022 年 2 月 吉日

参議院議員(立憲民主党・宮城県)石垣のりこ

## 第 11 回定期総会へのメッセージ

3.11 福島原発事故を契機として設立された緑の党が今年、結党10年を迎え、本日第11回定期総会を開催されますことに、心よりお慶びを申し上げます。グローバルな視点と拠点から、より良い地球環境と草の根民主主義による公正な社会と政治の実現に向け、日々奮闘されておられる皆様に改めて敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしと関係性を大きく変えようとしています。オミクロン株の拡大の中で、世界中が健康、医療、経済などあらゆる危機に直面しています。福島原発事故で起きたことが、このコロナ禍でも再び起きてしまっています。

しかし、これまで私たちが警鐘を鳴らし、また転換を訴えてきた問題—一人一人の人権や命が何よりも大切で、平和と非暴力、脱原発など持続可能でエコロジカルな環境正義が基幹をなす社会の構築—が、多くの人々に改めて再認識され、支持されています。

原発事故もコロナ禍も、痛みと試練を伴う出来事ですが、泥の中でも咲き誇るハスのように、私たちが目指すべき社会の姿がより明確になり、多くの人に共有されていることは間違いありません。

これからも、命と健康を守り、未来世代への責任を果たしながら、より良い社会、より良い政治の実現に向けて、ともに頑張ってまいりましょう。

定期総会のご盛会と、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## メッセージ

緑の党の皆様、第11回定期総会の開催をお祝い申し上げます。

コロナ禍は「自助」や「自己責任」といった新自由主義的政策を推し進めてきた社会の脆弱性を浮き彫りにしました。今こそ「支え合いの政治」への転換が必要です。

私が総理として直面した福島原発事故から10年が経過しました。

岸田内閣が閣議決定した「エネルギー基本計画」では原発依存を拡大し、石炭火力発電をも推進することを明記しています。原発ゼロ、再生可能エネルギーの主力電源化に向けてさらなる努力を続けて参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。活動のさらなる前進と皆様のご健勝をお祈りし、連帯のメッセージといたします。

2022年2月吉日



衆議院議員  
立憲民主党最高顧問  
(東京18区＝府中・小金井・武蔵野)

菅 直人

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-2-9サンローゼ武蔵野302  
TEL : 0422-55-7010 FAX : 0422-55-7768 E-Mail : kan-naoto@iris.ocn.ne.jp

緑の党グリーンズジャパン 御中



## 第11回定期総会の開催をお祝い申し上げます

皆様の日頃よりの精力的な活動へのお取組みに対し、心より敬意を表します。

また、昨秋の第49回衆議院議員選挙では、多大なご支援を賜り、紙面上で甚だ恐縮ですが、改めて御礼と感謝を申し上げます。

私たちのマスク生活も丸々二年となりました。そして一日も早い終息を願いつつも、残念ながらまた、新たな変異株と共に新しい年を迎えることとなってしまいました。一日も早く「当たり前の日常」を取り戻すことを最優先課題とし、与野党の垣根を越え全力で取り組んで参ります。

米中の軋轢の中での我が国の立ち位置、気候変動と大規模自然災害への対応、エネルギー問題など私たちの生存に直接的に関わるさまざまな大難題も目の前に山積する中、間違いなく私たちは今、これまでの経験則だけを頼りにしていたのでは切り抜けられない新たな時代の入り口に立たされています。

お預かりした議席の重みを認識し、全身全霊を以って難題にしっかりと向き合って参る所存です。

最後になりますが、貴党の益々の躍進へ本総会が実り多きものとなりますよう祈念申し上げ、更なるご厚誼を賜りますこと宜しくお願い申し上げます。

令和4年2月12日



まき よしお  
衆議院議員 牧 義夫

愛知県第4区(名古屋市瑞穂区・熱田区・港区・南区)

## ～メッセージ～

緑の党グリーンズジャパンの結党10周年に心からの敬意と祝意を表します。さて、今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で完全オンライン開催とのことで、厳しい状況での総会開催ではありますが、オミクロン株の蔓延は爆発的な状況であり、しかも私たちの生活に直結しており、その影響は計り知れません。ウイルス感染の拡大にも関係のある気候変動は危機的状況であり、きちんとした政策を打たなければ将来に大きな禍根を残すこととなります。

また、原発ゼロへの道筋を立て、再エネ移行も待ったなしの状況ですが、残念ながら政権は原発政策を変えようとはしていません。参議院選挙が行われる今年こそ、こうした道筋を皆さんと一緒に作り出していきたいと思います。

新自由主義から脱却し、どんな時でも、一人ひとりの命と安全、生活が守られ、格差のない、自然を大切にする社会を実現するために共に頑張ってください。

2022年2月12日



立憲民主党 衆議院議員

**近藤 昭一**

# メッセージ

緑の党グリーンズジャパン「第11回定期総会」ご盛会、誠にありがとうございます。

本日の会議が熱心な議論のもと実り多き会となり、今後ますます皆様のご活躍されますことを祈念いたします。

長引くコロナ禍の影響で、社会・経済へのダメージが深刻さを増しています。政治に届きにくい現場の実態、皆様のお声をしっかりと集め、政策に反映していかなければなりません。

昨年の衆院選は立憲民主党にとりましては大変厳しい結果となりました。

ここ、兵庫では多くの皆様より力強いご支援を賜り、なんとか比例復活も含め2議席確保することができました。

野党第一党としての責任をこれまで以上に痛感し、その役割を果たすべく、7月に行われる参議院選挙を全力で戦い抜く所存です。

今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月12日

立憲民主党兵庫県総支部連合会 代表  
衆議院議員

桜井 周



〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目6-10 成発モリハイツ 201号

TEL: 078-325-5039 FAX: 078-325-5027

<http://cdp-hyogo.jp> E-mail: [cdp.hyogo@gmail.com](mailto:cdp.hyogo@gmail.com)

## 緑の党グリーンズジャパン

### 第11回定期総会へのメッセージ

コロナ禍の中でのご奮闘お疲れ様です。

日ごろの新社会党の活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

岸田政権は、「新しい資本主義」を打ち上げるほど格差・貧困が拡大し、雇用環境が激変しています。劣化する社会、差別と分断が進み、地球環境の危機など私たちは多重危機の中にいます。新型コロナ感染爆発は、公共の役割とエッセンシャルワーカーの重要性を示しましたが、岸田自公政権は新自由主義政策からの転換を示すことができません。

今年の総選挙で維新が躍進し、国民は野党国対を離脱し憲法審査会の議論促進を主張しています。政局は、敵基地攻撃能力保有、軍事費倍増など激しく「右」に動き、排外主義が増幅されています。事態は深刻です。

今夏の参院選で自公維の伸長を許せばその先に何が起こるのか、衆参での三分の二議席が確保されれば「黄金の三年間」という政治状況を生み、「岸田の改憲」は現実のものになる可能性があります。今夏の参院選は護憲勢力の正念場です。安保・外交、原発、環境、税制度、男女格差などのジェンダー問題などで明快な自公維と対決する運動を作るとともに作らなければならないと思います。

世界は大きな転換点に向かっています。それにどう応えるのか、私たちも正念場を迎えています。「緑とりベラル左派の連合」も一つの重要な課題でもあります。具体的な政策研究・民主主義の実践の中でともに検証しあいたいと思います。

緑の党第11回定期総会おめでとうございます。大会の成功を祈念致します。

新社会党中央執行委員長  
岡崎宏美



## メッセージ

緑の党グリーンズジャパンの第11回定期総会が、コロナ禍の困難な状況の中、関係者の皆様のご尽力により開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、「エコロジカルな知恵」「社会的公正・正義」「参加民主主義」「非暴力・平和」「持続可能性」「多様性の尊重」を掲げて運動を進めてこられたことに敬意を表します。

私 尾辻かな子も、「誰も置き去りにしない」社会の確立をめざして、皆様とともに捲土重来を期して取り組む決意です。

本日の定期総会において今年度の方針の確立と、ご参集の皆様のご多幸を祈念いたします。

2022年2月12日

前衆議院議員 大阪2区(生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区)

**尾辻かな子**  
おつじ



立憲民主党

## メッセージ

本日は「緑の党第 11 回定期総会」が盛会に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また平素より皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大による今回の事態は、新自由主義やグローバリズムがもたらす格差と貧困の拡大を、さらに明らかにしました。そしてこの世界的なパンデミックの背景の一つとして「気候変動」が挙げられています。

世田谷区では、深刻化する気候危機の状況を踏まえ、区民・事業者の皆さんと地球温暖化の問題を共有し、共に行動していくため、2020年10月16日に23区では初となる「世田谷区気候非常事態宣言」を行ないました。宣言において、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことも表明しました。

今後もみどりに恵まれた良好な環境を次世代に引き継ぎ、持続可能な発展と脱炭素社会の実現に向け、取り組んでまいります。

結びに貴党の草の根民主主義に根ざした10年間にわたるご奮闘・ご功績に敬意を表すとともに貴党の今後の益々のご躍進を心よりお祈り致しまして連帯のメッセージとさせていただきます。

2022年2月12日

世田谷区長 保坂展人

「第11回定期総会」の開催を祝し、心からお慶び申し上げます。本日ご参集の皆様には日頃より格別のご高配を賜りまして、この場をお借りし感謝と御礼を申し上げますとともに、日々のご活動に心から敬意を表します。

近年の異常気象は気候変動が一つの要因とされています。そのため私たちは、気候変動対策として自然エネルギー立国の実現をめざしています。また、コロナ禍により困窮されている方々への支援も進めていかなければなりません。

未来に対する責任を果たす政治を実現させるため、私も皆様とともに力を尽くしていく所存です。

結びに、緑の党の益々のご発展とともに、本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、私からの連帯のメッセージとさせていただきます。

2022年2月12日



前衆議院議員 黒岩たかひろ

# ■緑の党グリーンズジャパン第11回定期総会 へのメッセージ

緑の党グリーンズジャパン第11回定期総会の開催にあたり、激励と連帯のメッセージを送ります。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、社会も個人々の生活も、企業活動も一変しました。自由に仕事をする事、移動する事、学ぶ事、人と一緒に過ごす事。平穏で自由な日常生活がどれほど価値のあるものか、誰もがかみしめています。

このような新型コロナウイルス感染症の影響で、皆様の活動も多大な制限を受けてきたことと思います。しかしながら、前向きな気持ちを失わず、更にご活躍されますことをご期待申し上げます。

昨年の第49回衆議院選挙において、皆様のお力添えにより二度目の当選の栄に浴させていただきました。

改めて感謝申し上げますとともに、皆様の厳粛な負託を自覚し、期待に応えられるよう努力精進してまいります。

最後になりますが、本定期総会を契機といたしまして、皆様がいっかきりと結束され、所期の目的が達成されますこと、そして、緑の党の益々のご発展をご祈念申し上げます、メッセージとさせていただきます。

「緑の党」 第 11 回定期総会のご開催、誠におめでとうございます。

日頃より皆さま方には大変お世話になり、ご厚情に深く御礼申し上げます。

御党は結党以来グローバル・グリーンズ憲章の理念を掲げ、未来に向けた幅広い有意義な活動をされていると認識しております。

またこれから人類が末永く幸せの日々を享受することができるのは、引き続きの皆さま方の地道な活動により「緑の政治」を根付かせる運動が大きな意義を持つと信じております。

御党のますますのご発展とご参加のみなさまのご健勝をお祈り申し上げます私からのごあいさつとさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



令和四年二月吉日

衆議院議員(神奈川1区) 篠原 豪

# 緑の党グリーンズジャパン

## 第11回定期総会 へのメッセージ



緑の党グリーンズジャパンの皆さん、こんにちは。社民党の福島みずほです。皆さんの日頃の活動、ご奮闘に対し、心から敬意を表します。また、結党10周年を心からお喜び申し上げます。

さて、コロナ禍で深刻な状況が続いています。コロナの影響で解雇された、給料が大幅に減ったという方々が数多くいます。仕事がない、お金がない、住まいがない、地面の底が抜けるような人たちにたくさん会ってきました。しかし、そのような場所から政府が見えません。公助の出番なのに

公助がありません。それどころか、このような時期に、衆議院では憲法審査会が開かれ、いよいよ憲法改悪へと進んでいます。命と暮らしを守る政策が求められているときに、なぜ憲法改悪が必要なのでしょう。このような流れを止めるには、次の参議院議員選挙で、野党が必ず勝たなければなりません。

世界では重大な関心事である地球環境問題が、なぜか日本ではなかなか選挙の争点になりません。緑の党は「原発も気候危機もない社会、エコロジカルで持続可能な、公正で平等な、多様性のある社会、平和な世界」をめざしており、社民党がめざすところと一致しています。市民の目線に立ち、地球の未来を見据えた政治を実現するため、ともに全力を尽くし、選挙にのぞみましょう。本日の定期総会のご盛会を心より祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2020年2月12日

社民党党首 参議院議員 福島みずほ

## メッセージ

緑の党第 11 回定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

日頃より中山均共同代表・新潟市議をはじめ、ローカルでグローバルな視点を持ち、草の根民主主義を実践されておられる緑の党の皆さまには、絶大なるご支援とご協力、ご指導を賜っていることに心から感謝致します。

今年は結党 10 周年とのこと、心よりお祝い申し上げます。これまでの皆さまの活動の積み重ねが、さらなる 10 年に向かって大きく花開くことを願ってやみません。

私も皆さまとともに市民と野党との共闘を力強く前進されていくことをお誓い申し上げます。

結びに大会のご盛会と緑の党のますますのご発展と皆さまのご多幸を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。



2022 年 2 月 12 日

参議院議員 打越 さく良

「緑の党 グリーンプラン」の定期総会にお集まりの皆様。  
れいわ新選組 代表の山本太郎です。

「緑の党 グリーンプラン」の皆さま、結党 10 周年おめでとうございます。  
一貫して弱者や困窮者の立場に立ち、社会の歪みを是正する意思をもってエネルギー転換を訴えてきた御党の活動に改めて敬意を表します。

10 年と言えば、去年は 2011 年の原発事故から 10 年を迎えました。もうじき 11 回目の 3 月 11 日がやってきます。多くの被災者は復興など実感できない状態で、コロナパンデミックによるさらなる追い打ちを受けています。

多くの人々は、目の前の生活で精一杯な状態で環境、エネルギー問題に関心を持つことも厳しい環境にあると感じています。原発の問題は争点にならないともいわれ、一部では「脱炭素のためには原発の活用もしかたない」とする空気があることを危惧します。政府のエネルギー政策を批判してきた野党の側でも、一部原発再稼働を容認する、原発ゼロの実現を後ろ倒しにするスケジュールを示す、など腰の引けた態度が目立つようになりました。

しかし、だからこそ、「原発にも化石燃料にも頼らないエネルギー転換」を求め訴え続けることが必要です。

去年の衆議院選挙でれいわ新選組は、代表の私を含め三議席を獲得し、  
国会では衆参合わせて 5 名の勢力となりました。

選挙で全国を遊説して訴えてきた政策の一つに「脱原発！グリーンニューディール」があります。

2030 年までに石炭は卒業しなければならない。2050 年までには、これはすべて 100%再生可能エネルギーを使っていくという方向性です。いろんな自然環境、いろんな起伏に富んだ土地、それぞれの地域の特性に活かされたいろんなエネルギーを基に、地域分散型のエネルギー需給システムを作っていく。そのために、自然エネルギーや蓄電池の普及に積極的に財源を投じていく。これが「れいわグリーンニューディール」のビジョンです。

このエネルギーの転換を推進する中で、250 万もの雇用が生まれるという、試算もあります。これまで原発に依存してきた地域に対しては、国の予算を投じて産業構造の転換、および雇用の転換を後押しすることが必要です。圧倒的な国費投入で、数十万人規模の良質な「低炭素・グリーン雇用」を生み出し、石炭火力や原発などの大規模発電所に依存した地域経済を変えていく。それが我々の目指すエネルギー転換です。

御党の「緑の社会ビジョン」においても、

「再生可能エネルギー、農業、介護・医療・教育の分野で仕事と投資を増やす」、  
とうたっておられます。私たちれいわ新選組も大いに賛同いたします。



欧州委員会は2月2日、どんな事業や製品が持続可能（サステナブル）か示す「タクソノミー」で、一定の条件のもとで「原子力を脱炭素に貢献すると位置づけ」、民間資金を誘導する方針を示しました。「脱炭素のため」という反対しにくい理由付けで、原発の延命・推進を図る動きは明確に批判しなければなりません。欧州でもドイツやスペインをはじめ、自然エネルギーに積極的な国からこの「タクソノミー」には批判があります。

この状況において、「原発に頼らない脱炭素」を目指す世界中の政党、草の根民主主義の担い手と連携していくことが必要です。御党が掲げる「ローカルでグローバルな視点」は今まで以上に重要になるでしょう。

れいわ新選組としても、脱原発、再生可能エネルギーの普及、誰も切り捨てられない社会を実現すべく、国会の内外で訴え続けてまいります。

2022年2月11日

れいわ新選組 代表 山本太郎

緑の党第十一回定期総会のご盛会をお慶び申し上げますとともに、結党十周年を御祝い申し上げます。

自由・民主主義・平和を守る、貴党のため活動に深く敬意を表します。

昨年行われた第四十九回衆議院総選挙では、全国各地で立憲民主党、そして各地の関係各候補への献身的な活動を展開してくださったことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

選挙結果は私たちにとって大変厳しいものではありません。いよいよ今年の夏には私も改選を迎えます。

日本の民主主義と平和を守る正念場であると肝に銘じ、必勝に向けて全力で闘っていくことをお誓い申し上げます。

平和憲法を守り、子どもたちに輝く未来を約束するために、国政の場で微力を尽くして参ります。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、緑の党の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いのご挨拶に代えさせていただきます。

令和四年二月十二日



参議院議員 森 ゆうこ



Kiyomi Tsujimoto

## メッセージ

緑の党第 11 回定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

昨年の衆議院議員選挙では、温かいご支援を賜りお礼申し上げます。選挙は大変残念な結果となりましたが、捲土重来、私はこの夏全国の皆様の声を国政に届けるため、新たな活動の一步を踏み出す決断をしました。

コロナ禍の影響が長期化する中、今、私達を取り巻く社会の脆弱さが露わになっています。日本中が傷んでいます。私たちが力を合わせる事で確実に社会を変えることができる。お互いの思いを実現するために、皆様と一緒に歩んで行きます。

定期総会のご盛会と皆様のご健勝を祈念いたします。

2022年2月12日



前衆議院議員

**辻元** 清美

<http://www.kiyomi.gr.jp>